

日本能率協会は、2015年4月1日より、ドイツ・ハノーバーに世界最大の国際展示会会場を保有するドイツメッセ株式会社の日本におけるセールスパートナーとして、同社が主催する国際展示会への日本企業の出展・来場誘致を行います。

News
Release



Deutsche Messe

2015年12月2日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
ドイツメッセ日本代表部

世界最大級 B to B IT 関連専門展示会
セビット
「CeBIT 2016 (国際情報通信技術見本市)」



- ・ITセキュリティに注目集まる！関連企画続々決定
- ・スタートアップ企業 250社超が集う「SCALE 11」は大幅拡大
～2016年3月14日(月)～18日(金)、ドイツ・ハノーバー～

世界最大級 B to B の IT 関連専門展示会「CeBIT」。IoT、ビッグデータ、クラウド、セキュリティなど IT ビジネス分野で世界 70 カ国から 3,300 社が出展し、世界市場に影響をもつ展示会です。(主催：ドイツメッセ株式会社／ドイツ・ハノーバー)

このたび、来年3月に開催する CeBIT 2016 での IT セキュリティ、デジタルスタートアップに関する企画の詳細が決定しました。



トピック 1：ITセキュリティに注目集まる！関連企画続々決定

ビジネス界におけるサイバー攻撃の脅威が高まるなか、CeBIT 2016 では、「IoT とセキュリティ」をトレンドテーマに掲げ、特別展示やフォーラム・イベント（技術交流）を開催します。

また、「CeBIT Global Conference」内で、IT セキュリティをテーマにしたセッションを設けます。

トピック 2：スタートアップ企業が集う「SCALE 11」は規模拡大

技術革新と既存の価値基準を超えた新しいビジネスモデルが集まる「SCALE 11」は、大幅に規模を拡大。既存企業や投資家、起業家、技術者、専門家などが集い、新しい価値創造に向け、展示、プレゼン、ワークショップなど様々な仕掛けが用意されています。

※各トピックの詳細は、次ページ以降をご覧ください。

CeBIT 2016(セビット／国際情報通信見本市)

開催期間：2016年3月14日(月)～18日(金)

会場：ドイツ・ハノーバー国際見本市会場

主催：ドイツメッセ株式会社

出展テーマ：
・デジタルビジネス・ソリューション ・ビジネスプロセス・アプリケーション
・ECM、インプット／アウトプットソリューション ・IoT (モノのインターネット)
・リサーチ&イノベーション ・データセンターダイナミクス ・ビジネスセキュリティ
・コミュニケーション&ネットワーク

【本件に関するお問い合わせ】 一般社団法人日本能率協会 担当：竹生（たけお）、高間（たかま）

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

TEL：03-3434-6447 / FAX：03-3434-8076 / E-Mail: DMS@jma.or.jp

※取材のお問い合わせは、広報室（TEL：03-3434-8620、担当：斎藤）へお願いいたします

1. IT セキュリティに注目集まる！関連企画続々決定

現在デジタル業界で最も注目を集めている話題のひとつが「IoT(モノのインターネット)」です。McKinsey Global Institute(MGI)による最近の調査では、デバイスやマシンがインターネットで接続され、自律化することで、2025年までに世界規模で最大110億ドルの経済価値が生まれると推定されています。しかし一方で、セキュリティ強化も大きな課題となっています。

企業に対するサイバー攻撃の数は増加の一途をたどっています。顧客の個人情報、クレジットカードの詳細データ、コネクテッドカーによって生成された情報など多くの企業データが、インターネット上に潜むサイバー犯罪者のターゲットになっています。

こうした背景のもと、CeBIT 2016ではITセキュリティを重要テーマとして掲げ、以下の特別展示・フォーラムを開催します。



◆特別展示「ビジネスセキュリティ」(ホール6)

- ・2日間にわたりビジネスセキュリティをテーマにフォーラムを開催
- ・アンチウイルスシステム、電子メールセキュリティ、クラウドとインターネットセキュリティ、ネットワークセキュリティを専門とする出展者を通じ、来場者に「セキュリティチェック」の実施を呼びかける。

◆「Business Security Expert Forum」(出版社 secuMedia との共同開催)

- ・ビジネス上のITセキュリティをテーマにした1セッション20分のミニ講演会
- ・IoTの最新情報のほか、アプリケーション、暗号化、ネットワーク、データ保護、産業向けITセキュリティ、パッチ管理、BYOD(私的デバイス活用)、クラウド、カー・フォレンジック、ファイアウォールなどのトピックについて取りあげる予定。

◆「CeBIT Security Plaza」(heise Events との共同開催)

- ・セキュリティ業界の出展者プレゼンテーションの場
- ・出展企業の他に、業界最大手企業の専門家らが登壇し、セキュリティの抜け穴と、対策について解説。中堅中小企業向けのITセキュリティ、オンラインショッピング、クラウド、オンラインバンキングにおけるITセキュリティ、サービス提供としてのITセキュリティなどのテーマを取りあげる予定。

◆「CeBIT Global Conferences」(ホール8)

- ・著名なセキュリティ専門家が「CeBIT Global Conferences」に登壇。

<<主な登壇者>>

- ・F-Secure社 CEO Christian Fredrikson 氏
(クラウド型セキュリティソリューションやプライバシー保護ソリューションを提供するフィンランドの企業)
- ・AVG Technologies オランダ社 CEO Gary Kovacs 氏
(アンチウイルス・ソフトウェア・サプライヤー企業)
- ・Qabel社 マネージング・ディレクター Peter Leppelt 氏
(オンラインバンキング、スマートホーム、および電子メールのセキュリティ強化のため、デジタル通信の暗号化用のソフトウェアプラットフォーム開発を手掛けるドイツ振興企業)
- ・ユーザー側の観点からもITセキュリティに注目。デジタル患者記録、スマートホーム、コネクテッドカーなどのトピックをテーマに討議を行う。
- ・日本からは、コニカミノルタ 代表執行役社長 山名昌衛氏が登壇

2. スタートアップ企業 250 社超が集う「SCALE 11」は規模拡大

CeBIT では前回(2015 年)より、スタートアップ企業の製品・サービス発表や交流の場として、ホール 11 に「SCALE 11」を設けています。CeBIT にはパートナー、顧客、投資家を探すため、350 社以上のスタートアップ企業が出展します。これらスタートアップ企業と既存企業との橋渡しの場が「SCALE 11」の役割です。

スタートアップ企業にとっては、成長の次の段階を踏み出す手助けをしてくれる新しいパートナーを見つける機会となります。一方、既存企業にとっては、デジタル革新や前途有望なビジネスモデルを発見する機会となります。

会期中、SCALE 11 には 250 以上のスタートアップ企業と、その支援者(既存企業の創設者、アドバイザー、スタートアップ集積都市の代表者など)が参加する予定です。

次回の CeBIT 2016 では、スタートアップ企業の次の飛躍に期待を込め「enable the next...」をモットーに SCALE 11 の拡大を決定。ドイツ振興事業者協会(BVDS)と提携し、スタートアップ企業のニーズに合った内容やスタイルに進化させて開催します。

◆進化する「SCALE 11」の特徴

- ・スタートアップ企業が集い、既存企業や投資家に向け自社の技術・サービス・アイデアを発表し、売り込む(見どころ)
 - － 欧州全域を対象にしたスタートアップコンテスト「Best of CeBIT」の決勝戦 開催
 - － スタートアップ創設者が 2 人 1 組になり、ボクシングのリングを模したフロアで「試合(自分たちのアイデアを戦わせて売り込む)」をする「Founders Fight Club」
 - ・スタートアップ企業が集積する都市の代表が登場し、起業しやすいビジネス環境づくりの秘訣を披露
 - － ロンドン、パリ、テルアビブをはじめ世界有数のスタートアップ都市の代表者が登壇する「Startup City Summit」を開催
 - ・アイデアや出会いをより確実なものとする直接対話の場、ネットワークづくりの場
 - － スタートアップ企業が売り込み中に得られた資金調達の情報、ビジネスモデルに関する詳細な情報を交換するワークショッププログラムを開催。
 - － 業界で影響力のある人物がそれぞれのテーマごとに「コミュニティキャプテン」を務める。コミュニティキャプテンは、各テーマのスタートアップ企業に向け指導者となり、ネットワークづくりを支援する。
- テーマ:ビッグデータ、デジタルヘルス、e コマース、FinTech(金融テクノロジー)、IoT、ロジスティクス、メディアおよび AdTech(広告テクノロジー)など、15 領域



(前回 CeBIT 2015・SCALE 11 の様子)

以上